

TTC標準
Standard

JT-H266

多用途ビデオ符号化方式

VERSATILE VIDEO CODING

第1版

2022年5月19日制定

一般社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、一般社団法人情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を一般社団法人情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、
改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容.....	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、国際電気通信連合電気通信標準化部門 (ITU-T) SG16 会合において勧告化された下記[1]の ITU-T 勧告に準拠している。

[1] H.266 (08/20) – Versatile video coding

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

なし。

3. 改定の履歴

版 数	制 定 日	改 版 内 容
第 1 版	2022 年 5 月 19 日	制定

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで御覧になれます。

5. その他

(1) 本出版は、具体的な規定内容は含んでいない。規定はすべて準拠元である ITU-T 勧告によっている。
具体的な規定内容は ITU-T 勧告を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

マルチメディア応用専門委員会

1. 標準の概要

本標準は Versatile Video Coding(多用途ビデオ符号化方式)として知られるビデオ符号化技術を規定するもので、2つの主要目標を持って設計されている。第1の目標は従来世代の標準方式に比べて大幅に上回る圧縮性能を有するビデオ符号化技術を規定することである。第2の目標は本技術が以前の標準方式に比べて広範囲のアプリケーションにおいて効果的に活用される高い汎用性を有することである。本標準のいくつかの重要アプリケーション領域には従来のビデオ符号化標準で一般的に利用されてきたアプリケーションに加えて、特に超高精細画像(例えば、ITU-R 勧告 BT.2100 で規定される 3840×2160 又は 7620×4320 の解像度画像、並びにビット深度 10bit の画像)、HDR(ハイダイナミックレンジ)画像と WCG(高色域)画像(例えば、ITU-R 勧告 BT.2100 で規定される変換特性 PQ(perceptual quantization)方式あるいは HLG(hybrid log-gamma)方式)、及び equirectangular または cubemap プロジェクションフォーマットによる一般的なプロジェクションフォーマットを用いた 360° 全方位ビデオプロジェクションのような没入型メディアアプリケーションのビデオも含んでいる。

本標準に対応する ITU-T 勧告 H.266 における 2020 年 8 月承認の版 (ITU-T 第 1 版) は最初に承認された初版である。

TTC 標準 JT-H266 第 1 版は、ITU-T 勧告 H.266 第 1 版に対応する簡略標準である。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記 ITU-T 勧告による。

[1] H.266 (08/20) – Versatile video coding